

あったかいがいいね

シャローム横浜通信 10月号

2022年(令和4年) 10月号(第266号)

新型コロナウイルス感染のご報告

日中の日差しはなお厳しいものがありますが、朝夕は過ごしやすくなってきました。コロナ禍で面会や外出が制限されていますが、シャローム横浜の庭では百日紅の赤い花が咲き、イチシクやブドウ、夏みかんが実っています。この庭には多くの樹木や花が植えられており、ご家族や来訪者、職員等多くの人たちを笑顔にしてくれます。この庭はボランティアの皆様によって維持・管理がなされており、多くの皆様に支えられていることを感謝するとともに、ご家族が面会時にゆっくりと過ごす姿を一日でも早くみられる日が来ることを願っております。

シャローム横浜では、7月19日より新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、保健所の指導を受けながら徹底した感染対策を行ってきました。しかし、今回流行したオミクロン株BA.5は従来株であるBA.2株の1.4倍の感染力があるため、4階一般虚弱棟を中心に退院してきたご利用者1名の発熱から始まり、徐々に感染者数が増加。結果的には4階一般虚弱棟ご利用者が42名、3階特別介護棟ご利用者が5名と、本当に多くのご利用者の皆様に陽性者が出てしまいました。

また、職員も介護職員とそれ以外も含めて計38名もの陽性者が確認

され、介護業務が滞ってしまうほどに職員数が減ってしまいました。そのため、介護業務を必要最小限にして人員不足のところに他部署から職員を派遣するなど、ケアサービス課・医務室・相談企画課・栄養課・事務局・在宅サービスなど、様々な部署がお互いに協力しあって何とかこの困難を克服することができました。その結果、8月31日にご利用者の療養期間が無事終了し、9月1日には終息宣言を出すことができました。ことを本当に感謝しております。

感染されたり、感染対策によって我慢を強いられたご利用者の皆様、心配されていたご家族の皆様には、ご負担をおかけしましたことをお詫び申し上げます。また、感染対策時に親身になって指導し支えてくださった保健所や市役所の皆様、いのちを守ってくださった医療機関や救急隊の皆様、厳しい状況の中で献身的に働いてくれた職員、ご理解ご協力してくださった地域の皆様など、支えてくださった多くの皆様に感謝を申し上げます。とともに、皆様の健康が支えられますことを切にお祈りいたします。

施設長 高原 信夫



7月半ば過ぎから発生した新型コロナウイルス感染症が猛威を奮って特養4階はクラスター認定となりましたが8月末にようやく終息しました。

ご利用者も職員も多くの方が感染しましたが、ショートステイの方の受け入れも再開して平穏な日々が戻ってきて嬉しい限りです。

ご家族の皆様もどうぞお気をつけてお過ごし下さい。

4階主任 宮沼孝志



第266号
令和4年9月15日発行
(毎月1回 15日発行)

責任者：施設長 高原信夫
〒241-0802
横浜市旭区上川井町
1988
アドベンチスト福祉会
シャローム横浜

編集委員

小林・荒金・加藤
☎045-922-7333

<https://www.adventist-welfare.jp/yokohama/>



あったかいがいいね

相談企画課の古澤広行です

私は虚弱一般棟（4階）のケアマネジャー業務とケアワーカー業務を行っております。認定調査（介護度を申請する際にご利用者の状況を調査するもの）においては認知棟（3階）のケアマネジャー担当の富栴が行っております。私はケアワーカー業務を大半入らせていただいております。

ケアワーカー業務においては密にご利用者と触れ合う事で、ケアプランに繋げ、より良いサービスを提供して行きたいと常に心がけております。



9月4日栄養課主催にてピザパーティーを行いました。当日は天気も良く楽しい時間を過ごす事が出来き、ご利用者の皆様も喜ばれていました。

ピザの種類は、シーフードピザと野菜のピザでした。10月の行事はラーメン屋台の予定です。

栄養課 小寺秀偉

「だから思い煩うな、一日の苦勞はその日一日だけで十分である」 第174回 チャプレン 上前 至

今、朝起きると、私の住んでいるマンションのベランダに、これ見よがしに、ハイビスカスの花が真っ赤な花を咲かせている。この花はその夕べにはしおれてしまうので本当に、その命は一日で終わってしまう。その為もあってか、私にはその日一日の命を今が盛りと精一杯、花を咲かせているように見えてきて、「さあ今の私を見てください」と一生懸命話しかけてくるようにも思えてきて、その花が一層いとおしく思えてくる。私もその花の語りかけに答えて一生懸命その真っ赤な花をじっとみてあげる事になっている。そうしてあげなければその花に対して申し訳なく思うからでもある。こうして私の最近の一日は始まっている。と、同時にその朝のベランダで最近、気づいた事がある。

それは、今までその朝の時間に、せみの声がやかましいくらいに聞こえていたが、最近はずっかりその声もやみ、そのかわりに別の虫の声、鈴虫？の声が聞こえてくるようになってきた事である。その声

を聞きながら、今年の猛暑も終わり、秋の季節がやってきていることを感じさせられたのである。そして同時に私は強く感じさせられた。

それは私達の命は神様によって与えられ、生かされ、動かされているという事を。時を支配しておられるのは神様だと言う事を。そしてその時に大切な事はそういう神様に信頼し、私共の思い煩いを一切神様に委ねて生きていくことほど幸せな人生はないということ。「だから明日のことを思い煩うな。明日のことは明日自身が思い煩うであろう。一日の苦勞はその日一日だけで十分である」マタイ8章34節

